

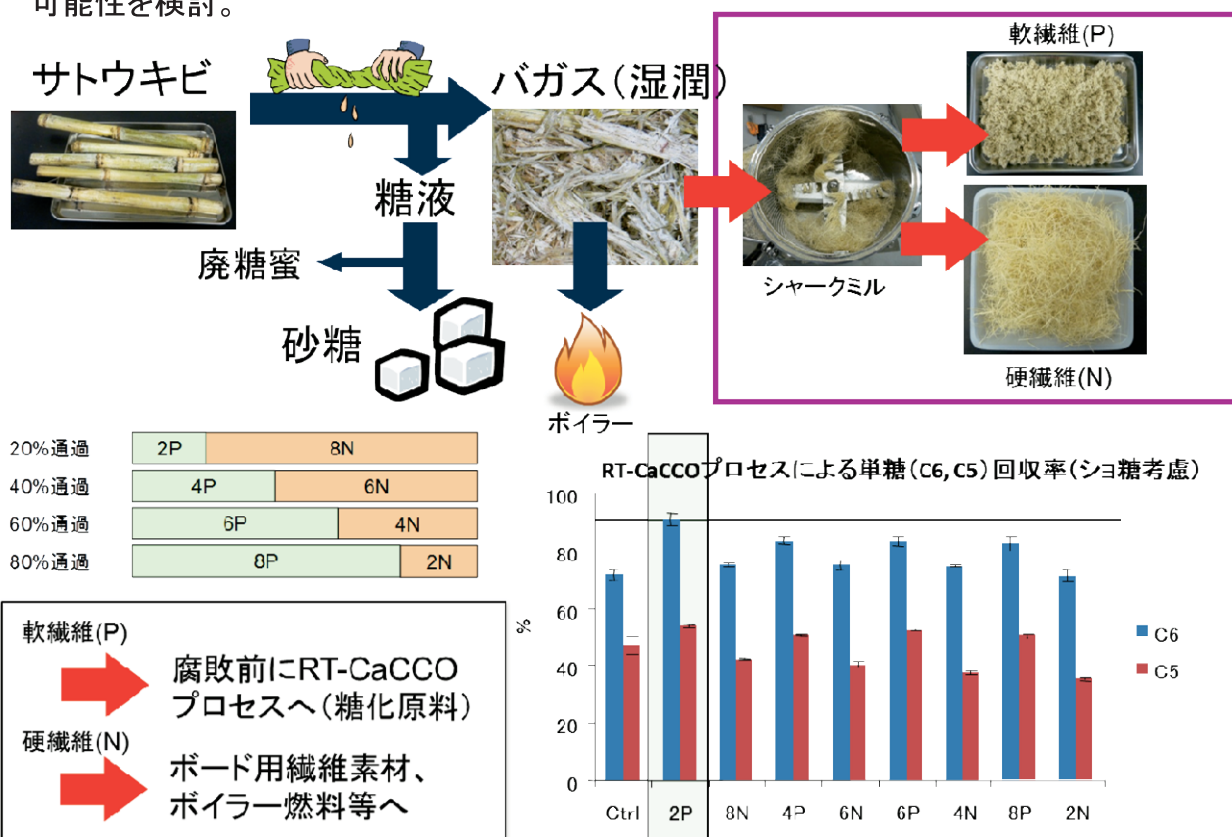
食品素材製造時に副生するバイオマスを糖化 ーCaCCOプロセス導入で副産物利用の高度化へー

技術の特徴

- ・稲わら等を原料としたバイオエタノール製造前処理技術として、水酸化カルシウム処理後にCO₂中和を行う「**CaCCO (カッコ、Calcium Capturing by Carbonation (CO₂)) 法**」を開発。
- ・本法を改良し、常温貯蔵時に前処理を行う「**RT-CaCCO 法 (Room Temperature-)**」を開発。
- ・RT-CaCCO 法は、湿潤原料の腐敗を抑えるための**湿式貯蔵技術**となることから、食品素材製造業における副産バイオマスを対象とした利用技術としての役割に期待。

研究の内容

- ・サトウキビ精糖工程を例として、副産物バガスの高度利用のためのRT-CaCCOプロセス導入可能性を検討。



サトウキビバガスの物理特性及び成分特性を考慮したRT-CaCCOプロセス導入

今後の展開

- ・共同研究等により、副産物の潜在性を総合的・網羅的に発掘。均質副産物が安定的に得られる食品素材製造現場での小・中規模RT-CaCCOプロセス導入可能性を検討。

参 考

本研究は、農林水産省委託研究プロジェクト「地域活性化のためのバイオマス利用技術の開発」により実施。サトウキビ利用技術開発については、九州沖縄農業研究センター作物開発・利用研究領域さとうきび育種グループの協力による。



農研機構
食品総合研究所

代表研究者：徳安 健、池 正和
所 属：食品素材科学研究領域
糖質素材ユニット

問合わせ先：029-838-7189 tokuyasu@affrc.go.jp